



Flying Car Certified as Airworthy

スロバキア発の空飛ぶ車、ついに販売へ!?



AirCarは、最高1万8000フィート(約5500メートル)の高さを飛ぶことができ、飛行時の最高速度は時速370マイル(約595キロメートル)に達する

聴くこと、声に出すことが成長への近道!

🎧 編集長おすすめトレーニング

Practice 1 英文を見ずに、CNNの生英語(6)を聴いてみよう。
音声のダウンロード方法はpp.120-121をご覧ください。

Check!

Practice 2 英文を見ながら音声を聴いてみよう。
必要ならゆっくりスピード(ポーズなし(7)/ポーズ入り(8))も活用してみてください。

Practice 3 日本語訳を参考に内容を理解し、音声を繰り返し聴いて耳を慣らそう。
さらに、音声をまねながら音読すると、吸収力がグンと上がります。

プラスアルファ 余力のある方は、別冊付録の問題集にチャレンジ!

Flying Car Certified as Airworthy

A car which becomes a small plane taking off and flying high above the traffic has been the stuff of fantasy for decades—still is. But now, the AirCar [is] inching closer to takeoff in a marketplace, with a certificate of airworthiness in Slovakia.

≫44 words (January 26, 2022)

スロバキア発の空飛ぶ車、ついに販売へ!?

小型飛行機に変形して離陸し、車の往来の上空を飛行する車は、何十年もの間、空想上のものであったし、今でもそうだ。しかし現在、AirCar（という空飛ぶ車）がスロバキアで耐空証明を取得し、市場に出る日が徐々に近づいている。

（訳 石黒円理）

赤シート対応

certify A as B
airworthy
take off
traffic
stuff
fantasy
for decades
inch

AをBと証明する、認定する
安全に飛行可能な、飛行に適した
離陸する
交通、往来、通行する乗り物
もの、物事、内容
想像、空想
何十年も
少しずつ進む

close to
takeoff
marketplace
certificate
airworthiness
Slovakia

～の近くに
発足、開始
市場
証明書、認可証
耐空性
スロバキア ▶ヨーロッパ中部に
位置する内陸国。



ナチュラルスピード

オーストラリア英語



ゆっくりスピード (ポーズ入り)

アメリカ英語

1 A car which becomes a small plane/
taking off and flying high above the traffic/
has been the stuff of fantasy for decades—/

2 still is.//

But now,/

the AirCar [is] ³ inching closer to ⁴ takeoff in a marketplace,/

with a certificate of airworthiness/

in Slovakia.//

解説

- ① 全体が1文目の主語になっており、which 以下は先行詞 A car を、taking 以下は a small plane を後ろから修飾している。
- ② は不完全文。A car which becomes a small plane still is the stuff of fantasy. ということ。
- ③ の inch は、元々は長さの単位 (1インチ=2.54センチメートル) だが、ここでは「少しずつ進む」という自動詞。
- ④ は「離陸」という意味にかけた言葉遊び。

CNN音声のリスニングポイント

本当はカナ表記では正確な発音を表せないのですが、音の大体のイメージをつかんでいただくために、あえてカナ表記を用います。「聞こえ方」のひとつの目安にしてください。

「動詞+副詞」の形で1つの動詞の働きをする場合と、
1つの名詞になる場合では、アクセントの位置が異なる。

2行目の taking off >>> [テイキン(グ) オフ]

6行目の takeoff >>> [テイコフ]

カナ表記の中の太字は、強く発音される部分を表します。
また、括弧に入っている部分は、普通、日本人の耳には聞こえないか、実際に発音されていない音を表します。

「動詞+副詞」の形で1つの動詞の働きをするものを「句動詞」と呼びます。句動詞では、動詞と副詞の両方、または副詞の方が強く発音されます。ここでは、tak (ing) off が句動詞であり、take と off の両方が強く発音されています。bring up、make out、put on などでも同様です。一方、takeoff は、句動詞から作られた1つの名詞です (take-off

のように、間にハイフンが入ることもあります)。名詞になった場合は、元は動詞であった部分 (ここでは take) が強く発音されます。countdown、kickoff、takeout などでも同様です。

解説 南條健助 (桃山学院大学国際教養学部准教授)



反訳に挑戦!

日本語から英語に変換する練習をしましょう。スピーキング力が鍛えられます。

小型飛行機になる車は/

離陸し、車の往來の上を空高く飛ぶ(小型飛行機に)/

何十年もの間、空想上のものだった——/

今でもまだそうだ。//

しかし、現在/

AirCar(という空飛ぶ車)が市場への進出に少しずつ近づいている/

耐空証明によって/

スロバキアで。//



将来的にはタクシーサービスを計画

「空飛ぶ車」と聞くと、1989年公開の映画『バック・トゥ・ザ・フューチャー PART2』を思い浮かべる人も少なくないだろう。今や、こうしたSF映画の中の出来事が現実になろうとしている。

スロバキアのクライン・ビジョン社は、同社が開発したAirCarの耐空証明(航空機が安全に航行できることを認定するもの)を2022年1月に取得した。これは空陸両用のハイブリッド車で、認証にあたり計70時間のテスト飛行が行われた。今回認証されたモデルは2人乗りで、3分ほどで車から飛行機に変形することができる。土地所有者の許可があれば、飛行場以外でも離着陸が可能だ。AirCarは2023年中に販売される予定で、50万~100万ドル(約6000万~1億2000万円)の価格帯になると想定されている。また、将来的にはAirCarによってパリ・ロンドン間など各地を結ぶタクシーサービスが計画されているという。



AirCarにはBMW製のエンジンが搭載されており、普通自動車と同様にガソリンが燃料となる